

★CASE 7★

ふたばこども園(安来市)

【保育園DATA】

- 所在地: 安来市下坂田町197-1
- 法人名: 社会福祉法人やすぎ福祉会
- 定員 : 145名
(1号認定15名、2,3号認定130名)
※平成28年8月24日時の在籍数
135名
- 職員構成
 - ・正規職員20名
 - ・嘱託職員3名(栄養士含)
 - ・パート職員0名
- 法人内他施設
 - ・あかえこども園



○西村 隆是 園長が大切にしていること

**職員が元気でないと、
子どもたちも園も元気になれない**

☆西村隆是先生の略歴☆

- ・平成20年安来市立第一中学校校長を退職
- ・平成21年ふたば保育園園長に就任
- ・平成29年ふたばこども園園長に就任

保育教諭がいきいきと働く環境を整備するために

○仕事の“めりはり”をつける

週に1回1時間保育室ではない部屋(研修室)で作業をする時間を取ることができます。集中して指導案や記録を作成することができるようになりました。ICTの一環としてパソコン導入により業務効率を高めたことから、他の時間に残業をすることがなくなりました。

また、休憩時間の使い方の工夫もしています。13時から15時の休憩時間は2班に分かれ、1時間ずつ休憩室でゆっくり過ごすことができます。この時間に私的な用事で市役所・金融機関などに出かけることができます。

○子育て世代の職員への支援

全職員23名のうち既婚者が13名おり、育児休暇を取得する職員も多数います。復帰をする場合に、子どもを預ける保育所が見つからないと復帰もままならないですが、保育教諭の子どもの入所にあたって(H29年度から)市の優先基準で配慮されることとなりました。そのため、自分の子どもを保育所に預けやすくなり、職場復帰もスムーズにいくようになりました。

また、保育教諭の職場復帰により途中入所の子どもを受け入れが可能になり、待機児童の解消にも役立っています。

ふたばこども園での取り組み紹介

「ICT化(インフォメーション アンド コミュニケーション テクノロジー)(情報通信技術化)」

「保育所等における業務効率化推進事業」の補助金を受け、書類作成業務についてICT化推進のためのソフトを導入し、保育室にパソコンを1台ずつ設置しました。これにより指導計画や保育記録の作成が容易に出来るようになりました。また、各クラスの情報が共有できるようになったので大変役立っています。

登園降園のチェックがタッチパネルでできるようになり、園児の出欠管理や延長保育管理もできるようになりました。認定こども園の移行に伴って発生した保育料などの徴収管理事務の省力化が図れるようになりました。将来的には、既往症・アレルギーの有無など園児の健康と予防に関することを含め、総合的に対応できるようになります。

また、防犯・不審者対応・事故防止や事故後の検証のために、園舎の外に4台のカメラを設置しました。正門や通用門から玄関までを見られるようにし、職員室のモニターで管理しています。

☆職員の声☆



川井 美代子先生

・保育士歴は20年目
(主幹保育士)

子どもが好きで、保育士をしていた姉の影響で保育の道に進みました。

子どもたちの日々の成長を間近に感じられ、様々な成長の瞬間に立ち会える喜びや充実感にあふれ、また、子どもたちからたくさんのパワーをもらっています。

保育士として20年目を迎え、教える立場でもありますが、周りの先生方に支えられている事を実感する日々です。「自分を認めてくれる人がいる」この安心感が私の自信となっています。



高橋 麻妃(まい)先生

・保育士歴は10年目
・3.4.5歳児の異年齢クラスのリーダー

今年度初めて異年齢クラスを担当する事になり、リーダーをしています。子どもたちの反応をストレートに感じる事ができ、保育にやりがいを感じています。

ICT化により月案やこどもの記録などがパソコン入力できるようになり、書きものの時間が短縮されました。また、お便りを作るにも、写真やイラストの挿入などが簡単にでき、楽しみながら作る事ができるようになりました。

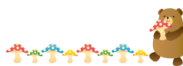
「異年齢縦割り保育」の実践

3・4・5歳児を縦割りにして3クラス作って、各クラスを2人で担任しています。(ベテランと新人の組合せ) また、クラス担任が年齢別の担任にも分かれているので、クラス担任・年齢別担任の複数で子どもを見守り、個性を尊重しながら保育を実践しています。

3歳児は上の子の活動を見て学び、5歳児は教えることで自信を持ち、思いやりの心が育まれます。本園は一人っ子や兄弟姉妹の少ない子どもが多く、縦の人間関係を学ぶ良い機会になり、また、いろいろな子どもたちと多く関わることで、人と関わる力が育まれます。

また、年齢別保育では子どもの評価を一つの物差しで測ろうとする傾向があり、一人一人の発達を見るという視点が失われがちです。異年齢保育ではその点を補うことができると考えています。

♪ 保育っていいな ♪ ～日々の1コマより～



たけのこの皮だよ



美味しいピザが焼けたよ

とうもろこし初めて見たよ

